

# 令和3年度 事業報告書

## 共同生活援助 風sunホーム

### 目次

1. 利用者の状況	2
2. 日中活動	3
3. 職員配置	4
4. 職員研修	4
5. 見学の受け入れ	5
6. 地域活動	5
7. 外出代替テイクアウト	5
8. 避難訓練	6
9. 保健衛生	6
10. 苦情相談	8
11. 事業計画等に対する評価	8

# 令和3年度 事業報告

平成17年度より開設した「風sunホーム」は、介護サービス包括型の共同生活援助事業所として、全6棟25名の利用者へのサービス提供を継続した。

各ホームでの月例の世話人会議において、サービス等利用計画に基づく個別支援計画を確認して、利用者一人ひとりの想いに寄り添う支援の提供に心がけた。また、相談支援事業者の開催するモニタリング会議に参加して関係事業所および行政機関との連携を図りながら情報を共有することで、利用者の安定した生活に寄与することができた。今後もバックアップする松風の里との連携を強みとして、安全安心な生活を保障する。

移転を果たした「なぎさホーム」は、スプリンクラーを付設するとともに夜間勤務の世話人を配置した。住宅賃貸借契約を更新する「あらはまホーム」は、現状の利用者の人員等を配慮して、単年度契約に移行した。

新潟県の実地指導監査を受監し、マニュアル等の関係書類を再確認した。指摘事項はなく、適正な運営状況の評価を得た。

3年を経緯する「新型コロナウイルス感染症」への対策として、行政の指導の下、予防ワクチンを職域接種の形態で3回実施することができた。圏域の陽性者の動静をみながら、法人内で警戒もしくは準警戒態勢を頻回に切り替えて発動し、外出は自粛しながらも、テイクアウトを活用して各ホームでの夕食を楽しんだ。

保健衛生面では、利用者の重度加齢化に伴う心身の変化が進んでおり、各種検診や通院を支援した。健康状態を維持するための食事や運動面でのサポートについて、支援者間で共通の認識をもつように努めた。嚥下機能の低下が顕著になった利用者のために、主食では粥食、副食では軟菜、一口大カット等、個々のケースに合わせた支援を展開した。歯磨き支援の定着から数名の利用者が、歯科医院への受診を継続した。各ホームに、マスク、非接触型電子体温計、エンボス手袋、アルコール消毒、ペーパータオル、空気清浄機等を常設して、感染症予防に取り組んだ。

防災対策として、災害時避難マニュアルを点検して作成した利用者の「緊急時持ち出しケース票」を各ホームに常設した。消防法による防火安全体制を構築するため、各ホームにおいて年2回以上の避難訓練を計画して、内1回は実際に世話人が退勤した後の夜間帯に実施した。地震を想定した避難においては、防災頭巾を装着する訓練を継続した。水害において避難区域に指定されているホームについては、大雨による避難勧告指示の設定のもと避難場所への移動訓練を実施した。

男女1名ずつの「要介護1」の利用者が、介護保険サービスの利用を継続した。女性利用者2名が、養護老人ホームへの入所のため退所した。女性利用者1名が、入院の長期化に伴い退所した。

利用者の人権擁護に資する「障害者虐待防止法」および「障害者差別解消法」等の理解について「ホーム職員行動規範自己評価票」を作成して、世話人会議において反映した。

世話人の資質の向上のため、アンケート調査を実施しながら管理者との面談の機会を設定して、契約の更新に繋げてきたが、次年度10月からの社会保険適用拡大について資料を介して丁寧に説明し、合意形成に努めた。各種研修会の計画は延期したが、職員の外部研修会については、オンラインを活用して参加した。

以下、令和3年度の事業を報告する。

## 1. 利用者の状況

(令和4年3月31日 現在)

### (1) 出身市町村別人数

利用者	市町村	柏崎市	刈羽村	計
男性		13	0	13名
女性		11	1	12名
計		24	1	25名

### (2) 年齢別人数および平均年齢

利用者	年齢	~19	20 ~24	25 ~29	30 ~34	35 ~39	40 ~44	45 ~49	50 ~54	55 ~59	60 ~64	65 ~69	70~	計
男性			1				3	1	1	2		3	2	13名
女性				1	2	1	1	3	4					12名
計			1	1	2	1	4	4	5	2		3	2	25名
利用者	年齢	最高年齢		最少年齢		平均年齢		全体平均年齢						
男性		71歳		21歳		54歳		49歳						
女性		53歳		27歳		43歳								

### (3) 知的障害の障害支援区分別人数

[平均区分 3.16]

利用者	区分	1	2	3	4	5	6	計
男性		2	3	3	4	1		13名
女性			2	4	5	1		12名
計		2	5	7	9	2		25名

### (4) 身体障害の症状別重複者

利用者	症状	聴覚	言語	肢体不自由			計
				上肢	下肢	体幹	
男性				1			1名
女性							
計				1			1名

### (5) てんかんおよび精神障害の症状別重複者

利用者	症状	てんかん	統合失調症	精神症状	計
男性		3	1	1	5名
女性		3	1	3	7名
計		6	2	4	12名

### (6) 動向

- ◇ 7月 5日 (月)「あらはまホーム」女性が、養護老人ホーム「御山荘」への入所のため退所した。
- ◇ 9月30日 (木)「あらはまホーム」女性が、精神科病院への入院後退院の目途が立たず退所した。
- ◇ 3月29日 (火)「風の丘ホーム」女性が、養護老人ホーム「御山荘」への入所のため退所した。

## 2. 日中活動

サービス管理責任者、支援員、世話人が、日中活動先の事業所と連携し、6ホーム25名（男性13名・女性12名）の利用者の地域における生活を支援した。

	名称 (住所)	開設年 月	利用者の状況				就労等おもな日中活動の場	援護の 実施者
			利用 者	性別	年齢	要 介 護		
◇	風sun ホーム (松波)	平成 17年 4月	あ	女	51		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			い	女	49		喫茶めぐ、元気障害者デイサービスセンター	柏崎市
			う	女	40		喫茶めぐ、にしやまの里	刈羽村
			え	女	38		かわハズ	柏崎市
			お	女	30		たいようSOCIOセンター、松風の里	柏崎市
◇	なぎさ ホーム (原町)	平成 18年 4月	か	男	71	1	にしやまの里、松風の里	柏崎市
			き	男	70	1	にしやまの里、松波デイサービスセンター、ツクイデイサービス、シニアフィットネスひよし、松風の里	柏崎市
			く	男	69		にしやまの里	柏崎市
			け	男	59		にしやまの里、柏崎市身障者福祉作業所、松風の里	柏崎市
◇	風の丘 ホーム (藤元町)	平成 18年 10月	さ	女	53		にしやまの里、元気障害者デイサービスセンター、松風の里	柏崎市
			し	女	47		にしやまの里、元気障害者デイサービスセンター、松風の里	柏崎市
			す	女	30		喫茶めぐ	柏崎市
			せ	女	27		原信神崎東店、松風の里(パート常勤員)	柏崎市
◇	あらはま ホーム (荒浜)	平成 24年 4月	た	女	53		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			ち	女	53		こすもす作業所	柏崎市
			つ	女	49		たいようSOCIOセンター	柏崎市
◇	なかはま ホーム (中浜)	平成 25年 4月	な	男	69		かわハズ	柏崎市
			に	男	68		柏崎市身障者福祉作業所	柏崎市
			ぬ	男	55		たいようSOCIOセンター、アトリエぽっけ	柏崎市
			ね	男	54		かわハズ	柏崎市
			の	男	44		たいようSOCIOセンター	柏崎市
◇	やまもと ホーム (山本)	平成 28年 4月	は	男	47		にしやまの里、松風の里	柏崎市
			ひ	男	44		たいようSOCIOセンター、にしやまの里	柏崎市
			ふ	男	41		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			へ	男	21		かわハズ	柏崎市

### 3. 職員配置

共同生活援助に係る職員を、以下の人員で配置した。

職 種		員 数	備 考
管 理 者	(松風の里 園 長 兼務)	1	社会福祉士
サービス管理責任者	(松風の里 支援員 兼務)	1	
世 話 人	日 勤	21	
	夜 勤 【なぎさホーム、風の丘ホーム、やまもとホーム】	8	
支 援 員	(松風の里 支援課 兼務)	2	介護福祉士
事 務 員	(松風の里 庶務課 兼務)	1	
計		34名	

### 4. 職員研修

#### (1) 職場内研修

コロナ禍のため、職場内における資質向上に寄与する各種研修を実施することができなかった。

月 日 (曜)	内 容	参 加 者	
		世 話 人	職 員
	[実施なし]		
計	回	名	名

#### (2) 職場外研修

コロナ禍のため、職場外における関係機関のオンラインによる研修を受講した。

月 日 (曜)	内 容	参 加 者	
		世 話 人	職 員
8. 20 (金)	第32回全国グループホーム等研修会 (オンライン) 「ありのまま いきていく ちいきのなかで」		3
計	1 回	名	3 名

#### (3) サービス担当者会議

相談支援事業者が作成した、利用者一人ひとりの「サービス等利用計画」における「モニタリング会議」に参加し、各事業所間の連携をはかり、世話人へも周知して利用者の支援にあたった。

事業所 (利用者) \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ふくし・ぼーとなー (12名)	4	2	1	3	1	2	6	1	1	2		1	24
元氣障害者センター (8名)	1	2	1		1	1	1	1	1		1	2	12
茨内地域生活支援センター (3名)	1					1					1		3
おうぎまち (3名)	1	1					2	1					5
ふらぼーと秋桜 (2名)							1					1	2
計	7	5	2	3	2	4	10	3	2	2	2	4	46

## 5. 見学の受け入れ

コロナ禍のため、圏域のニーズに応える見学希望者の受け入れに努めることができなかった。

月 日 (曜)	ホーム	見 学 者	人 数
		[見学なし]	
計		回	名

## 6. 地域活動

コロナ禍のため、利用者は地域のイベントやクリーン活動に参加することができなかった。

### (1) イベント

月 日 (曜)	ホーム	イ ベ ント	参 加 者	
			利用者	職 員
		[活動なし]		
計		回	名	名

### (2) クリーン活動

月 日 (曜)	ホーム	活 動 場 所	参 加 者		
			利用者	世話人	職 員
		[活動なし]			
計		回	名	名	名

## 7. 外出代替テイクアウト

コロナ禍により、利用者の希望に応える日帰り外出を実施することができなかったため、テイクアウトを活用して、各ホームでの夕食を楽しんだ。

月 日 (曜)	ホーム	発 注 先	参 加 者	
			利用者	職 員
12. 20 (月)	風sun	割烹しげよし 「雅」	4	
11. 3 (水)	なぎさ	割烹かました 「特注弁当」	4	
6. 22 (火)	風の丘	喫茶めぐ 「特注弁当」	5	
12. 23 (木)	あらはま	割烹しげよし 「雅」	3	
11. 3 (水)	なかはま	割烹しげよし 「ステーキ弁当」	4	
11. 17 (水)	やまもと	割烹しげよし 「ステーキ弁当」	4	
計		6 回	24 名	名

## 8. 避難訓練

各ホームにおいて、各種想定の下、年2回以上の避難訓練を実施した。

ホーム	月 日	想 定 状 況				備考
		時間帯	火災発生場所	地震の有無	世話人の有無	
風sun	5. 11	夕食前	台所	有	有	
	10. 14	夜間	台所	無	無	
なぎさ	5. 12	夕食前	台所	有	有	
	8. 30	夜間	台所	有	有	
風の丘	6. 15	夕食前	台所	有	有	水害 警戒区域
	7. 28	夜間	台所	無	有	
	10. 21	夕食前	豪雨想定	無	有	
あらはま	5. 25	夕食前	台所	有	有	
	9. 7	夜間	台所	無	無	
なかはま	6. 22	夕食前	台所	有	有	
	10. 6	夜間	台所	無	有	
やまもと	5. 26	夕食前	台所	有	有	水害 警戒区域
	9. 14	夜間	台所	無	有	
	10. 27	夕食前	豪雨想定	無	有	

## 9. 保健衛生

### (1) 健康保健教室

コロナ禍により、柏崎市健康推進課の保健師・栄養士等を招聘する研修会を開催することができなかったため、松風の里において管理栄養士による「健康保健教室」を開講した。

月 日 (曜)	ホーム	内 容	参 加 者			
			利用者	保護者	世話人	職 員
8. 4 (水)	なぎさ 風の丘 やまもと	生活習慣や栄養摂取に係る講話	7		2	2
計		1回	7名	名	2名	2名

### (2) 入 院

女性2名の入院者があり、医療機関との週1回以上の情報交換に配慮した。女性Bは、入院後退院の目途が立たず、9月30日(木)退所した。

利用者	年齢	ホーム	医療機関	症 状	期 間	日数
女性A	26	風の丘	関病院	心因反応	～6/21(月)	82日
女性B	59	あらはま	関病院	うつ症状	7/3(土)～9/30(木)	90日

(3) 通院

職員の同行の下、利用者の医療機関への受診を支援した。

- 【健】健康診断      【内】内科      【精】精神科・脳神経内科・心身医療科  
 【外】外科      【整】整形外科      【脳】脳神経外科  
 【歯】歯科      【眼】眼科      【耳】耳鼻咽喉科  
 【皮】皮膚科      【泌】泌尿器科      【婦】婦人科

ホーム		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
風sun	【健】	2	2	1										5
	【内】			1			1	2		1			1	6
	【精】					2								2
	【歯】				1						1			2
	【整】			1		1								2
	【皮】		1											1
なぎさ	【健】		5	4										9
	【内】					1		2		2	3		1	9
	【精】	4		5	3	2	3	2	2	2	2	2	2	29
	【皮】		2	2	1			2	3	1		1	2	14
	【歯】				2	3	1				2	1		9
	【耳】										1			1
風の丘	【健】			1	2		3							6
	【内】			1	1	1	1	1	1			1		7
	【精】	1		1	3	2	1	3	1	3	1	2	1	19
	【歯】				1	1					1	1		4
	【皮】										2			2
あらはま	【健】		2	1										3
	【内】		1	1										2
	【精】	3		1	1			1		1		1		8
	【整】		1	2										3
	【歯】									2	1	1		4
なかはま	【健】		3	2	1		1							7
	【内】	2			2		2	2		2			1	11
	【精】						1							1
	【外】					1	1							2
	【歯】						1					2	4	7
	【皮】	1		1			2			1		1		6
やまもと	【健】		3											3
	【内】	2	1	1	2		1	1	2	1	1	1	1	14
	【整】									1				1
	【歯】				1	2	1	1					2	7
計		15	21	26	21	16	20	17	9	24	10	12	15	206



## 10. 苦情相談

法人が定める「社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニーの提供する福祉サービスにかかる苦情解決体制整備等に関する規程」により、苦情解決の責任体制を明らかにして、相談に関する環境を整備した。

本年度は苦情の受付はなかったが、今後も利用者・保護者からの相談に傾聴し、真摯に対応する。

### 11. 事業計画等に対する評価

#### (1) 環境の整備と安全な暮らしへの配慮

移転を契機として「なぎさホーム」は、消防スプリンクラー設備を付設するとともに、夜間勤務の世話人を配置した。

年度末に10年契約を終えた「あらはまホーム」は、グループホームの縮充計画に鑑み、単年度での延長契約として更新した。

#### (2) 健康面への配慮

夜間帯の体調不良者については、職員がホーム宿泊して状態観察を行ったが、今後もかかりつけ医と連携を保ちながら、加齢に伴う疾病や体調の急変等に関する各利用者の健康状態の把握に努める。

感染症への対応や突発的な体調不良等で通院が必要になった場合の職員確保のため、人員体制についての検討を続ける。

#### (3) 余暇の支援

収束のみえないコロナ禍のため、利用者の希望する外出については、移動支援サービスやホーム支援員が同行する形態あるいは単独で外出する機会を、十分に提供することができなかった。

利用者の創作活動を応援し、市を中心とした作品展に出展した。今後とも、楽しみながら表現する時間を支援し、作品づくりに繋げる。

#### (4) 世話人との連携

世話人と支援員が連携を図るため、世話人会議を有効に活用して、月例の会議では個別支援計画を中心に日頃の支援を振り返り、利用者の現状を把握するとともに生活の質の向上のため話し合いを継続した。

引き続き、支援員が各ホームへ定期的に訪問することにより、世話人との情報を共有するとともに、信頼関係の構築のため協調する。

#### (5) 保護者および関係機関、地域との連携

保護者および日中活動先、相談員等との情報を共有し、協力し合うことができた。今後も利用者が主体的に暮らしていけるように、近隣や地域との連携を大切にする。

松風の里において、月例でグループホーム関係職員連絡会議を開催し、当該年度および中・長期的な運営のあり方について検討する。

#### (6) ライフステージに寄り添う支援

日常生活動作を保持できる身体状況のもと「あらはまホーム」と「風の丘ホーム」の女性利用者2名が、養護老人ホームへ移行した。

今後とも、利用者一人ひとりのライフステージに寄り添い、加齢化の進む利用者へは、本人および保護者の意思を尊重しながら、それぞれにふさわしい生活態様を支援する。